



第160号  
令和2年6月29日  
能代市教育委員会  
学校教育課

創刊 昭和42年10月10日  
題字 元能代市教育長 鎌田 宏

### 巻頭言



## よさを生かす

### 能代南中学校長

#### 鈴木 洋一

「自己有用感」は、他人の役に立った、他人に喜んでもらった、…等、相手の存在無しには生まれてこない。(生徒指導リーフ18) 「自尊心との違いは何か？」昨年度の本校「講師研修会」の課題の一つでした。相手のよさに目を向け認めてあげること。そして、相手にしっかりとよさを伝えてあげること。2つのことを講師と確認しました。よさを認めた方も、認められた方も、ほんわかとした気持ちになります。つまり、認められることは自分のよさを生かす原動力となります。

市教委学校訪問。高橋教育長様を始めとして委員会のみなさんは、学校のよさ、生徒のよさ、職員の

よさを沢山褒めてくださいます。校長としてとても嬉しく、次に向かう勇気をいただきます。とてもありがたいことです。職員に伝えるとき、みんなの顔が和らぎます。そして生徒に向かう気力がいっそう強まります。

2年間の統合で市の小・中学校は18校から13校に減りました。市校長会として、減ったことのよさを大いに生かしていくつもりです。今後、情報交換を大切にしながら各校の経営のよさを自校の経営に生かしたり、みんなで足並みをそろえたりして、横のつながりをより強くしていきたいと思えます。よさを認め合うことを大切にしながら児童生徒が明るく元気に自分のよさを生かす学校を目指します。



能代東中学校  
教頭 日沼 良樹

### 理科の見方・考え方を働かせる導入の工夫



本校では「深い学び」に導くために、導入・展開・終末の各過程の質を高めることに重点を置いている。高橋毅教諭はその切り口として、生徒が理科の見方・考え方を働かせて学習が展開されるような学習指導を目指している。特に導入場面では、生徒から学

習課題につながるキーワードを引き出すために、実物や電子黒板を活用して、観察する視点を与えたり、既習事項を活用させたりして、気付きを促すようにしている。

高橋教諭は成果として、生徒に解決の見通しをもたせることができたこと、何よりも生徒が主体的に取り組むようになったことを挙げていた。

現在は、導入の時間短縮を目指して、日々の実践に励んでいる。

### 輝きの場面



一・六ペア活動 顔合わせ会  
行事の練習や掃除と一緒に  
向能代小学校





浅内小学校  
教諭  
嶋田 康弘

## これが私の 指導法 ～知的財産の継承

教務主任として、自分が心がけてきたことや、理想とする教務主任の姿について紹介します。もしも、学校を野球部にたとえらると、花形の選手だと、

ちはもちろん学級担任で、教務はマネージャー的な役割が多いように思います。遠洋漁業船にたとえるなら料理長ですね。また、小学校では、保護者から見ると「何をやっている先生？」と思われるようなことも少なからずあるような気がします。

そんな教務の仕事も4年目となりました。自分が理想とする教務の姿は、仲間の発言や提案に「それ、いいね」と言える人。仲間の意見の意図を共感的に捉え、できるだけ取り入れて企画ができる

人。個人のものすごいフィインプレーだけを目指すのではなく、チームの勝利を目指す、やるべきことを確実に行う人。研修に関しても建設的な意見を述べることができ、子どもとできるだけ関わり、上手に叱ることができるとです。

どの学校にも、教務を経験した先生は必ずいます。学級経営や授業などと同じで、そうした先生から「こつ」を学ぶことが大切です。自分が考えていることより、簡単で効果的な実践をされてきた先生が数多くいることに気付きます。



東雲中学校

教頭 畠山 芳

『生徒の笑顔、元気、活力があふれる学校づくり』

今年度の本校テーマは「生徒の笑顔、元気、活力があふれる学校づくり」である。実現に向けて次の4点を共通実践している。

①心力、体力（生徒指導、健康安全）で土台となる健康な心と体を育む。毎月の「心のアンケート」や学期ごとの「学校生活アンケート」の他、教育相談期間を学年部でサポートしたり、養護教諭、心の教室相談員、スクールカウンセラー、はまなす広場等と連携したりして情報共有を密にしている。

②集団力（居場所と絆のある集団）を育む。授業では、聞く、認める、助ける、共感することを意識する。運動会、学校祭、雪中綱引きの三大行事を盛り上げる。今年度の生徒会は、「一響（こえ）」の想いを言葉に「」のスローガンを掲げ、東雲開拓BOX（意見箱）とありがとう宅配便（感謝の気持ちを届けます）をスタートして1UPした東雲中を目指す。

③学力（学習指導）を生徒主体の授業で創る。小中連携で取り組んでいる、学び合いの場・振り返りの場を充実させた後半重視型の授業実践を通して、学習内容の定着を図る。また、道徳推進教師が授業を見合う場を設定し、若年層への継承も意識している。

④自己開発（ふるさと教育）で地域を元気にする学校・地域に応援される学校を目指す。三大行事への招待、ボランティア活動をさせてもらいながらの能代支援学校



との交流、地区高齢者お楽しみ会への応援団交流など、ふるさとのよさを語り、ふるさとに誇りをもつ生徒を育てる活動を充実させる。昨年度、常盤中学校と統合して新たな東雲中学校がスタートし、元気な先生方が元気な生徒に一生懸命手をかけてくださっています。

### 編集後記

緊急事態宣言が発令される中、数カ月でした。各学校においては、3密を避けながら、工夫を凝らした教育活動を展開していることと想います。学校数の減少等により、今年度から「教育のしろ」は年3回の発行となります。160号という脈々と受け継がれてきた能代市の教育をお伝えしたいと思っております。日々の業務の中、玉稿をお寄せくださった方々に心から感謝いたします。ありがとうございます。

## 浅内小学校 花の道



教務の役割として、教えていたただいたことを周りの先生方に広げていくことも大切です。カリキュラム・マネジメントにつながることは、教務だけでなく、全職員で共通理解することが、学校の活性化につながっていきます。今年度は特に、行事関係や時数の確保について積極的に提案し、実践していくことが求められています。これからも、浅内小学校の子どもたちのため、学校のために、教務主任として力を尽くしていきたいと思っております。